

報道発表資料の配付日時 2022年10月7日(金) 17時00分

手術支援ロボット「da Vinci (ダヴィンチ) サージカルシステム」 による肝がんに対する手術を実施しました

～2022年4月から肝疾患に対するロボット支援下肝切除術が保険適用となりました～

<概要>

札幌医科大学附属病院では2022年4月から保険適応となった「da Vinci (ダヴィンチ) サージカルシステム」を用いた肝がん手術の第1例目を2022年10月7日(金)に実施しました。

手術を担当した消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座 竹政伊知朗 教授は、「今回の保険適用によって、肝がんに対するロボット支援下手術を多くの患者さんが受けることができるようになります。これまでは腹腔鏡手術を積極的に行ってきましたが、ロボット支援下手術の導入により、北海道の患者さんにより安全で高度な医療を、高難度とされる肝胆膵領域の手術においても提供することが可能となります。」と述べました。

今後は、適応のある症例に対して、肝がんに対するロボット支援下手術を進めてまいります。

<手術支援ロボット da Vinci (ダヴィンチ) サージカルシステムとは？>

da Vinci システムは、手術機器を動かすロボット本体、術者がロボットを操作するためのコンソールと呼ばれるシステム、術野を映像化するビデオシステムから構成されています。da Vinci システムを用いた手術では、ロボット本体が手術台に乗っている患者さんにドッキングします。執刀医はコンソールに座り遠隔操作でロボットを動かし、手術を進めます。

<～ロボット手術の利点とは？～>

da Vinci システムを用いた手術では、最先端のビデオ技術により、手術野を高解像度な3D(三次元)画像かつ拡大した視野でとらえることができ、手振れ防止機能の付いた鉗子操作により、精細な手術操作が可能となっており、見る、切る、縫う(再建する)という点において、従来の手術よりも高い精度の手術が実現可能となっています。

<～対象となる術式は？～>

消化器・総合、乳腺・内分泌外科で行っているロボット支援手術は下記の術式です。

- 腹腔鏡下直腸切除・切断術
- 腹腔鏡下胃切除術
- 腹腔鏡下噴門側胃切除術
- 腹腔鏡下胃全摘術
- 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

- 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下肝部分切除術

<札幌医科大学のロボット支援手術について>

札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座は、ロボット支援手術において国内トップクラスの実績を誇ります。

これまでにはロボット支援手術の遠隔指導に向けて企業との共同開発にも取り組み、2020年11月には3D映像のリアルタイム映像伝送の実証実験にも取り組んでいます。

<本件に関するお問い合わせ先>

所属・職・氏名：札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座 教授 竹政伊知朗
TEL： 011-611-2111(32810)